

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【公開番号】特開2006-189053(P2006-189053A)

【公開日】平成18年7月20日(2006.7.20)

【年通号数】公開・登録公報2006-028

【出願番号】特願2006-196(P2006-196)

【国際特許分類】

F 0 2 D 23/00 (2006.01)

F 0 2 B 37/24 (2006.01)

F 0 2 B 37/00 (2006.01)

F 0 2 M 25/07 (2006.01)

【F I】

F 0 2 D 23/00 E

F 0 2 B 37/12 3 0 1 Q

F 0 2 B 37/00 3 0 2 F

F 0 2 M 25/07 5 7 0 D

F 0 2 M 25/07 5 7 0 P

F 0 2 D 23/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月4日(2008.8.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ターボチャージャ(33)に流体結合された吸気マニホールド(22)を有する内燃機関(20)を制御する方法であって、

前記ターボチャージャ(33)は、前記吸気マニホールド(22)内のマニホールド空気圧(MAP)(52)およびマニホールド空気流(MAF)(50)に影響を及ぼし、前記内燃機関(20)は、前記内燃機関(20)の前記吸気マニホールド(22)内に燃料を噴射する1つまたは複数の燃料噴射器(38)も有し、前記方法は、

前記1つまたは複数の燃料噴射器(38)を利用して、前記内燃機関(20)に燃料供給プロフィールを導入するステップと、

前記燃料供給プロフィールに係る1つまたは複数の信号を提供するステップと、

前記燃料供給プロフィールに係る前記1つまたは複数の信号に少なくとも部分的に基づいて、前記吸気マニホールド(22)内の空気の前記マニホールド空気圧(MAP)(52)および/または前記マニホールド空気流(MAF)(50)を調節するステップとを含む方法。

【請求項 2】

前記内燃機関(20)は、排気マニホールド(24)と、前記排気マニホールド(24)から排気ガスを受け取り、前記吸気マニホールド(22)にある量の排気ガスを供給する排気ガス再循環(EGR)弁を含み、前記量は、前記EGR弁(58)の設定点によって設定され、前記調節するステップは、前記EGR弁(58)の前記設定点を調節して、前記吸気マニホールド(22)内の空気の空気組成をもたらす、請求項1に記載の方法。

【請求項 3】

前記内燃機関（20）の前記排気ガスの組成に係る 1 つまたは複数のパラメータの現在の値を感知するステップをさらに含み、

前記調節するステップは、前記 EGR 弁（58）の前記設定点を調節して、前記 1 つまたは複数の感知されたパラメータの少なくとも 1 つの今後の値をもたらす、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

ターボチャージャ（33）に流体結合された吸気マニホールド（22）を有する内燃機関（20）を制御する方法であって、

前記ターボチャージャ（33）は、前記吸気マニホールド（22）内のマニホールド空気圧（MAP）（52）およびマニホールド空気流（MAF）（50）に影響を及ぼし、前記内燃機関（20）は、前記内燃機関（20）の前記吸気マニホールド（22）内に燃料を噴射する 1 つまたは複数の燃料噴射器（38）も有し、前記内燃機関（20）は、排気マニホールド（24）と、前記排気マニホールド（24）から排気ガスを受け取り、前記吸気マニホールド（22）にある量の排気ガスを供給する排気ガス再循環（EGR）弁を有し、前記排気ガスの量は、前記 EGR 弁（58）の設定点によって設定され、前記方法は、

前記 1 つまたは複数の燃料噴射器（38）を利用して、前記内燃機関（20）に燃料供給プロフィールを導入するステップと、

前記燃料供給プロフィールに係る 1 つまたは複数の信号を提供するステップと、

前記燃料供給プロフィールに係る前記 1 つまたは複数の信号に少なくとも部分的に基づいて、前記 EGR 弁（58）の前記設定点を調節するステップとを含む方法。